

令和6年 萩市議会 3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	13	西 中 忍	3月5日午前
2	9	佐々木 公 惠	
3	2	浅 井 朗 太	午後
4	7	村 谷 幸 治	
5	14	齐 藤 眞 治	
6	8	森 田 宗 和	
7	1	水 津 和 男	3月6日午前
8	3	岡 崎 隆 志	
9	18	横 山 秀 二	午後
10	11	森 田 哲 弘	
11	12	関 伸 久	
12	6	松 浦 誠	3月7日午前
13	4	小 林 富	
14	17	宮 内 欣 二	午後
15	5	瀧 口 治 昭	
16	10	美 原 喜 大	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 避難場所や避難場所までの移動方法等の継続的な周知や行政支援を行う必要はないのか	<p>1. 姉妹都市の輪島市を含んだ能登半島で、今年の元日に発生した大きな地震は、各地に甚大な被害をもたらしました。</p> <p>また、現地の厳しい状況が、連日、報道されていることから、高齢者を中心に「自分が住んでいる地域で災害が発生しても避難ができるだろうか」や「どこに避難すればよいかわからない」など、心配の声を聞くことが多くなっています。</p> <p>特に、避難場所が遠方にある地域では「避難所までどうやって行けばよいのか」という声も聞こえてきます。</p> <p>そこで、これまでも周知していますが、各地域の避難場所や避難所までの移動手段などについて、更に詳しく、かつ誰でもわかるような周知と、移動に対して行政の支援が出来ないかお尋ねします。</p>		
2. 近年、著しく加速している少子化について、どのように分析しているのか	<p>1. 少子化は、萩市が抱える大きな課題となっていることから、これまで歴代市長のもと、様々な施策を複合的に実施してきました。</p> <p>しかし、改善するどころか、出生数は毎年、減少し続けています。特に、田中市長就任後、出生数の減少が加速している状況です。</p> <p>そこで、出産祝い金の増額や給食費の無償化など、萩市の財政状況を考えると、身の丈に合っていない大盤振る舞いとも言える施策を次々に展開している市長は、ご自身の就任後、出生数の減少が加速していることについて、どのように分析し、どのような対策が必要と考えているかお尋ねします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 太陽光発電施設誘致の顛末はどうだったのか</p>	<p>1. 田万川地域にある遠見団地造成地への太陽光施設誘致が、議会や住民に何の報告等がないまま水面下で進められ、住民説明会の案内もごく一部の自治会へ萩市長名で发出されるなどしたことから、地域住民が問題視するとともに、一般質問でも取り上げられた結果、田万川地域の市政報告会で突如、市長が白紙撤回を発表されました。</p> <p>このような状況から、地域住民からは「何があったのか」という声が聞こえてきます。</p> <p>そこで、太陽光発電施設の誘致がどのように始まり、どうして白紙撤回に至ったのか、事の顛末について、内部協議等を含めてお尋ねします。</p>

質問順位	2	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 災害時対策について	1. 要配慮者に対する福祉避難所の活用について 2. 災害時などの母子支援として助産師会との協定を 3. 災害救援自販機の活用について 4. ペットの災害対策について		
2. 筋萎縮性側索硬化症（ALS）などの患者や家族に対しての在宅療養支援について	1. 訪問看護サービスの充実と質の向上について 2. 医療サービスと福祉サービスの適切な連携確保について 3. 在宅療養を支援する機器について 4. 家族の休息（レスパイト）の確保について		
3. SNS児童性被害防止について	1. 子どもを守るために愛知県警等が開発したアプリ「コドマモ」の周知・啓発について 2. 学校配布の学習用タブレット端末に「コドマモ」アプリの活用を		

質問順位	3	質問者	浅井朗太議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 玉江漁港海岸保全事業について		1. 検討を開始する経緯について 2. 今後の取り組みについて	
2. 大板山たたら製鉄保存整備事業について		1. 令和6年度の事業予定について	
3. 中学校の部活動地域移行について		1. 部活動改革推進会議で示された市の方針の詳細について 2. 地域の担い手確保へ向けた施策及び財政措置について	

質問順位	4	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 老人クラブの現状と課題について	<p>1. 高齢者の増加に反して、老人クラブの会員が減少しています。老人クラブは、行政として補助金を交付しており、豊かな老後の暮らしと明るい長寿社会を形成していくため、その役割は大変重要であることから、その活性化を図ることは重要であると考えます。萩市の老人クラブの現状（クラブ数と会員数の動向と運営状況）とクラブから上がってくる課題についてお聞きします。</p>		
2. デジタル推進に伴う業務の効率化と市民サービスについて	<p>1. 「キャッシュレス決済の導入」と「チャットGPT導入」についてまだ検討段階にあると思われませんが、導入に向けての進捗状況はどうでしょうか。また、導入に当たってメリット、デメリット、実用に向けての課題や市民サービスにどう繋げていくかお聞きします。</p>		
3. がんばろう萩！プレミアム付商品券（第2弾）の経済効果について	<p>1. 1次販売では、どれだけの購入（何世帯、何セット、割合）がありましたか。</p> <p>2. 1次販売で購入されなかった方は、どんな理由が大きいですか。</p> <p>3. 2次販売では、どれだけの申込みがあつて、最終的な購入数は何世帯、何セットでしたか。売れ残りはありましたか。</p> <p>4. 利用期間が今年の1月末まででしたが、商品券の回収率はどうでしたか。共通券、専用券それぞれで教えてください。</p> <p>5. 第1弾に比べてこの事業をどのように評価しますか。</p>		

質問順位	5	質問者	齊藤真治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光行政について	<p>1. 萩観光情報ネット発信力の強化について問う。</p> <p>(1)「ニューヨークタイムズの2024世界で行くべき52ヶ所の都市」に続く53番目となる、萩観光への萩観光情報ネット発信力の強化について</p>		
2. 萩・小郡間地域高規格道路整備工事について	<p>1. 市長が提唱する萩小郡間地域高規格道路・現道活用区間(明木～萩椿間)の整備構想について問う。</p> <p>(1) 萩小郡間地域高規格道路(絵堂萩道路)工事に関する市長の認識について</p> <p>(2) 昨年の中要請行動を終えた、明木～萩椿間に対する市長発言内容について</p>		

質問順位	6	質問者	森田宗和議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の防災対策について	1. 住宅の地震対応を聞きます。 2. 密集住宅地の火災予防の対応等を聞きます。 3. 漁村集落地の津波避難対応等聞きます。		
2. 買い物難民について	1. 旧阿武郡（過疎地域）の買い物難民の展望を聞きます。		
3. 笠山の鳶の巣カフェについて	1. 令和4年12月議会で質問した思いやり駐車場について進展を聞きます。 2. 椿まつりが始まりましたが、椿まつり、鳶の巣の状況を聞きます。		

質問順位	7	質問者	水津和男議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業改革のための継続的な取り組み	<p>1. しろうお漁から春の幕開き</p> <p>(1) 漁獲量は昨年少し回復しましたがそれでもピーク時の1/10です。今年も卵を産み付ける小石の投げ込みを継続し、また投入場所を松本橋周辺に特化するなど改善取り組みをされていますが今年の実績は如何か。</p> <p>今後のこととして</p> <p>(2) 更なる対策として、折角産み付けた卵としろうおの成魚(親)を、うなぎ、マゴチ、チチブなどが捕食していることが調査で判明しています。これの防御策は如何に。</p> <p>(3) 水質の汚染が考えられます。全国的にアマモ場の再生活動が呼びかけられていますが萩市としての取り組みは如何か。</p> <p>(4) しらす(カタクチイワシの稚魚)も沿岸での網漁です。獲れる量が激減していると聞いています。小魚が育たなければ生態系が回って行きません。この網漁の中にしろうおが入っている可能性があります。実態調査と仮に入っているのであれば一部を共に飼育・栽培することを検討したいが如何か。</p> <p>2. 続いて、さくらフグ祭りとなります。</p> <p>(1) 経済効果の見込みは。費用対効果以上の目的は。</p> <p>(2) このイベントのターゲットはどこまで。</p> <p>(3) 保管、加工の体制は。</p> <p>(4) この先5年、10年計画は如何に。</p> <p>3. 旬の地魚がおいしいまち・萩推進事業で血ぬき・活締めを推進し、所得増加の推進を図る取り組みは強力的に進めて欲しい。</p> <p>(1) 漁業者への指導体制は。</p> <p>(2) 仲買、卸し、町の魚屋さん、ホテル旅館の調理人への指導体制は。</p> <p>4. 水産卸売市況では萩市の魚価が低いと思われるが如何か。</p> <p>5. 能登半島地震の支援策として、輪島市の漁業者を萩市に呼びよせてはどうか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
2. 農業改革のための取り組みについて	<p>1. 地域の米農家さんが今年限りで廃業するとの声を聞いた。理由は、1俵の収入が8,000円に対して費用は16,000円と大赤字。これまでは、代々の土地を守ることを優先したが高齢化で後継者も無く継続は無理との判断。この状況は益々、増加すると思われるがどのようにお考えか。</p> <p>(1) 大手商社の参入を仕掛けては如何か。</p> <p>(2) ふるさと納税の返礼品で他市はコメが上位にあるが萩市は下位である。ここらに問題とヒントがあるのでは。</p>
3. 課題解決手法の取り組みについて	<p>1. 2040年には人口が半減すると言われている。行政も、人員削減が余儀なくされると考えられる。組織力、個人能力の拡大が求められる。</p> <p>(1) 組織・業務に応じた資格取得制度は有や。</p> <p>(2) 相応の資格手当は有や。</p> <p>(3) 課題解決手法(QC)の研修などの取り組みはされているか。</p>

質問順位	8	質問者	岡崎隆志議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 分庁舎の新規建設は市民の理解を得られたか	1. 令和5年12月定例会以降の検討内容や、市民の理解・納得を得るための取り組みを問う。 2. 庁舎建設の在り方・考え方を問う。		
2. 人口減少対策は見直すべきではないか	1. 令和5年の出生数が132人という状況から、今後の人口減少対策の考え方を問う。		
3. 道の駅への市の関り方は公平性が保たれているか	1. 市の道の駅への関わり方について、その考え方を問う。		

質問順位	9	質問者	横山秀二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 免許返納者への対策について	<p>1. 高齢者の免許返納者に対する萩市としての対応は考えられるか。</p> <p>(1) 山口県及び萩市の免許返納者に対しての特典について。</p> <p>(2) 萩市独自としてのこれから考えられる政策はどのようなものがあるか。</p>		
2. 災害時における自主避難について	<p>1. 自主避難に対する市の現状と今後の対応について。</p>		

質問順位	10	質問者	森田哲弘 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の第三セクターへの関わりについて(令和6年1月17日江崎地区市政報告会の市長発言)	<p>1. 1月17日江崎地区市政報告会で、住民から萩市の第三セクター(株)たまがわに対する質問に対して、市長答弁の真意についてお訊ねします。</p> <p>2. 同報告会で住民からの質問による令和3年度、4年度、5年度の(株)たまがわの損益計算書に対する市長の見解についてお訊ねします。</p>		
2. 山陰自動車道早期事業化に向けて現状と課題及び萩市の分庁舎との関わりについて	<p>1. 山陰道の未事業区間は大井から阿武町木与防災道路までと、田万川から須佐を通り阿武町木与防災道路までが未だに事業化されていないことについてお訊ねします。</p> <p>2. 山陰道の未事業区間と萩市役所分庁舎建設に係る国土交通省西部国道事務所の移転についてお訊ねします。</p>		
3. 田万川遠見団地造成地の今後の利活用についてお訊ねします	<p>1. 田万川遠見団地造成地の太陽光発電設備の設置は白紙撤回となりましたが、この物件は23,000㎡という価値ある遊休地ですが萩市としての今後の対応をお訊ねします。</p>		

質問順位	11	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 世界3位に選ばれた山口市の次は萩市。インバウンドの受け入れ体制の充実を</p>	<p>1. 2024年1月9日のニューヨークタイムズに、お隣の山口市が日本で唯一「2024年に行くべき52カ所」の第3位に選ばれた。選ばれたのは、山口市だが、萩市のことと捉えて、この千載一遇のチャンスを活かさなければならぬ。そこで、来年度の観光戦略をどのように考えているのか、お訊ねする。</p> <p>また、観光振興のうえで、現在、どのような点がネック(課題)になっているのかも訊く。</p> <p>外国人観光客等のインバウンドの受け入れは、これまで顕著な実績がなく、民間事業者においても受け入れ体制の対応が分かれるところである。「卵が先か、鶏が先か」の議論はさておき、確実に受け入れの準備を進めていくべきである。受け入れ体制の整備については、これまでも取り組まれていると思うが、行政として、今後、どのようなメッセージを事業者が発信していくのか、市の所見を伺う。</p>		
<p>2. 輪島塗と萩焼の即売会の実施で復興支援を</p>	<p>1. 本年1月1日の能登半島地震により、姉妹都市である輪島市は、壊滅的な被害を受けている。まず、優先されることは生活再建であるが、それが落ち着けば生業の再建も併せて行っていかなければならない。</p> <p>そこで、輪島市の漆器事業者と萩焼事業者の連携により、ここ萩市で即売会ができないものか、お伺いする。</p> <p>萩市は平成2年10月に双方の市が伝統産業を有すること、また北前船の寄港地であったこと等の共通する理由で、姉妹都市の盟約を締結している。萩市は複数の姉妹都市を有しているが、輪島市にとって、萩市は唯一の姉妹都市である。</p> <p>以上より、救援物資による支援、人的支援に加えて、販売機会の提供による経済支援も行うべきではないか。市の所見を問う。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 中核病院の方向性と財政支援策について</p>	<p>1. 中核病院の形成にかかわる基本合意に時間がかかっているが、これは、相手のあることであり、致し方ないことと思料している。</p> <p>萩市がどんなにアプローチしても、相手が条件に合意しなければ進めることができないのがM&Aの世界である。</p> <p>よって、基本合意に時間がかかっていることを市長の政治責任とすることは、いささかお門違いの話である。</p> <p>本来であれば、事業者間のM&Aは、秘匿のうちに進められるものである。一般的には、M&Aの入り口は開示されず、また出口も成約した場合のみ明らかになる世界で、予算執行に議会の議決が必要との理由から、相手を開示して取り組んでいるのが、今回の中核病院の形成推進事業である。</p> <p>萩市がこの中核病院の形成事業に着手して、かなりの時間が経過しているが、情報が依然として錯綜しているのも事実であり、今後形成されるであろう中核病院で、すべての医療処置が行われると信じて疑わない市民も多い。</p> <p>ここで、今一度、確認したい。萩市の目指す中核病院は、今の医療機能の大幅な改善を目指すものではなく、医療資源を集約することで、2次救急医療体制の維持・堅持を主な目的に設置されるということで間違いはないか。</p> <p>また、高度・先進医療は、引き続き、他市の3次医療病院（宇部市の山口大学医学部病院や山口市の日赤病院等）と連携していく方向性でいいか。</p> <p>次に、独立行政法人に移行した場合、先の特別委員会では、地方交付税等による財政支援は受けられないと聞いているが、これは事実か。改めて確認する。</p>

質問順位	12	質問者	松浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 災害時の対応について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 車中泊避難の対応について 2. 道の駅防災拠点について 3. 企業との連携協定について 4. 避難所における Wi-Fi 整備について 		
2. 男性の育児休暇取得について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 取得の現状について 2. 取得向上の為の今後の対応について 		

質問順位	13	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山口県に注目が集まる中での観光政策をどのように進めていくか	<p>1. ニューヨークタイムズによる山口市への注目などによりインバウンドへの期待も高まりますが、同時に国内需要も高まる観光についてお聞きします。</p> <p>(1) 観光のかじ取り役はDMOが担っていますが、具体的な観光戦略やビジョンを内外に共有して進める必要があると考えます。毎年、さまざまな施策を実施していますが、その分析・検証を踏まえて選択と集中や展開をしなければなりません。そのためには以前から提案しているように専門人材の登用、そして、単年度に加えて中長期での観光戦略を示していくことが本来のDMOの役割でありかじ取り役として必要と考えますが、現在の状況についてお伺いします。</p> <p>(2) 現在、萩市は一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）のニューヨーク事務所に職員を派遣しています。世界から注目が集まるこの機会に萩市から海外に向けて展開できるインバウンドにつながるコンテンツが豊富にあると感じています。</p> <p>例えば地域の風土と結びついた特産品を保護する国の制度「地理的表示（GI）」に指定された日本酒や萩焼など現状での取組はどのようになっていますか。その他にも海外と連携をとって萩市産品を展開していくべきと考えますが、どのような取組をしているかお聞きします。</p>		
2. 探究活動を更に推進し、萩市の街づくりに活かさないか	<p>1. 市内の小中学校や高校では連携する大学も含めて探究活動により地域課題の解決に向けた施策を展開しています。自ら課題を見つけて探求する活動では座学にとどまらず、現地調査やアイデアなどの発信、施策も実施しています。萩市をフィールドとして探求がさらに発展・連携させるように取り組み、萩市教育の特色にしていきたいと考えています。</p> <p>(1) 萩市の教育環境の特色として打ち出せば地元での子育てやUJIターンの促進、市内高校進学や全国公募化につながると考えています。</p> <p>探究活動のなかでは地域の課題解決に向けた具体的か</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>つ魅力的な施策も実施されています。一方、全ての学校現場で探究活動に十分取り組めていない現状もあるかと思えます。学校現場の教員だけでなく地域・企業、そして、コーディネーターなど専門人材の協力が不可欠ですが、萩市の探求活動への取組をお聞きします。</p> <p>(2) 探求活動はさまざまな場所で開催されており成果報告もされていますが、萩市の政策や街づくりにもっと連動出来ないかを感じています。</p> <p>例えば、観光施策や産業振興などあらゆる探究活動で調査・研究された事例を担当課とつなげる役割が必要です。市政との連携を推進する体制をお聞きします。</p> <p>(3) 探究活動への期待は大きく、先日の議会報告会では中学校の部活動地域移行にかかるテーマで中学校の探求にかかる部活動の提案がありました。</p> <p>希望する小中学生の探究活動にも高校生や大学生、コーディネーターなどが入ってより良い探究活動ができるようにできないか、同時に文化部としての検討できるのではと考えますが、いかがでしょうか。</p>
<p>3. 根拠に基づく政策立案への取組を</p>	<p>1. EBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング）と表記される根拠・証拠に基づく政策立案の重要性や必要性が高まっています。</p> <p>デジタル社会の到来によりビックデータが集まる中、これらのデータを活用した施策づくりが必要と考えますが、ビックデータの活用はどのようになされていますか。</p> <p>また、科学者や研究員、そして、それらを有する大学機関や民間企業などが持つビックデータの活用も進めることでより効果的な施策立案につながると考えますが、そのような連携や活用にはどのように取り組みますか。</p> <p>政策実施後の評価や分析、その後の政策立案へと展開するためにも行財政改革を「見える化」することが必要です。改めて行財政改革の見える化をすべきと思いますが、萩市の見解を再度、お聞きします。</p>

質問順位	14	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 広域災害に対する準備は万全か	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能登半島地震の被災状況からくみ取る教訓は何か。 2. 過疎地域の広域防災における課題は何か。 3. 自助、共助、公助と言われてきた災害対応について見直す必要があるのではないか。 4. 災害に対応する備蓄は十分確保されているか。 5. 避難所における居住性の確保やハラスメント対策はどのようなになっているか。 		
2. 第3セクター会社(株)たまがわの経営状況について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の(株)たまがわの経営状況はどうか。現在の経営実態がわかる資料を市民や議会に開示すべきではないか。 2. 24年6月以降の豊田物産との関係はどうか。 3. 豊田物産との22年10月1日付の契約は完了しているのか。 4. アグリKJとの提携はどんな形になったか。 5. (株)たまがわの従業員はどうか。 		
3. 地域医療の充実強化をどう進めるか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 萩市内の国保診療所の今後の医師をどう確保していくか。 2. 今後の運営についてどう考えているか。複数の医師で複数の診療所を運営する浜田市の国保連合体の取り組みは参考になるか。 3. 萩医療圏の医師や看護師確保に向けた地域ぐるみの取り組みの推進をどうかんがえるか。 		

質問順位	15	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市営住宅と定住対策について	<p>1. 全国的な人口減少が進む中、国・県・町村自治体はその対策にいろいろな政策、補助事業を創出してそれぞれ切磋琢磨をしています。今回は定住人口について質問します。</p> <p>所得制限のある公営住宅（特別公共賃貸住宅）についてお聞きしますが、周辺地域においては定住対策としての公営住宅の設置がなされていますが、そもそもの規則が地域の定住策を阻害している現実があります。地域の定住を進めようとしながら、賃貸の規則に従えば、所得の向上により高額な家賃となり、結果として他への転出を判断せざるをえないという事例が発生しています。</p> <p>市の中心部においては他の物件を探すことも容易でしょうが、周辺地域に定住を求めるならば、なかなか物件もありません。</p> <p>同じ萩市に定住するのならばどこでも良いのではないかというご意見もあるのですが、地域での定住を希望している住民と、地域の定住人口を少しでも維持、増加させようとしている地域の思いとは相反する事例と言えるのではないのでしょうか。</p> <p>若い世代の地域への定住を目指すのであれば、全国一律の制度や規約ではなく、地域や地方の実情にあった制度に変えていくことが必要ではないのでしょうか。市の考えをお聞きします。</p>		
2. 第3セクターや指定管理によって運営されている施設の今後の管理について	<p>1. 平成17年の合併により萩市の財産となった第3セクターや指定管理制度によって運営されている各種施設があります。</p> <p>合併からほぼ20年が経過をし、施設によっては改修や建て替えが行われたところもありますが、経年劣化により、補修や改修が必要となっているところもあります。すでに補修や改修の要望が出ているところもある事と思いますが、今後そのような施設に対して市は、どの様な判断基準なり、計画を持って対応されていくのかお聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 県立美術館・浦上記念館との連携について</p>	<p>1. 萩市には県立美術館・浦上記念館という立派な施設がありますが、この美術館と萩市の連携は現在どのようになっていますか。</p> <p>観光に繋がる企画や市のイベントと同調した企画といったものや、美術館、博物館・明倫学舎が共通のテーマで展示を行うといったようなことが考えられないのか、またはすでに考えて実施されているのか、お聞きします。</p>

質問順位	16	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩のインバウンドへどう繋げるか	<p>1. アメリカの有力紙、ニューヨーク・タイムズにより、「2024年に行くべき52か所」に山口市が選出されました。これと前後して、アメリカの有力経済紙「ウォールストリート・ジャーナル」により、「2024年行くべき場所ベスト10」に九州が選ばれています。</p> <p>ニューヨーク・タイムズの報道直後には、村岡知事は「山口県の魅力に、ようやく世界が気付き始めた。」言われました。増してウォールストリート・ジャーナルは九州を挙げて、世界は日本の西へ目を向け始めています。萩市としては、千載一遇の機会であり、何としても、萩市へ足を運んでもらえるような仕組みづくりが必要であると考えます。官（県・市）民一体となってその対応が必要と思いますが、その具体的方策を聞く。外国人に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩の魅力のPR方法 ・萩への交通手段への対応は ・萩でのおもてなし計画は（商工業者との調整は） ・インバウンド客を対象とするイベントの取り組みは 		
2. どうする10年	<p>1. 「地方消滅」の増田レポートが提出されて10年が経ちます。そして今、2100年には日本の人口は6,300万人、4割が高齢者になると言われています。現在の半分になると言うことで、都会の都市部が殆どの人口をキープすると、萩のように人口の少ない都市は消滅します。消滅しない方法は、特徴のあるまちづくり（萩では、歴史・文化・文化財・自然等での観光産業及び教育環境）が必要であると考えますが、今後50年・100年先を想定して、当面10年先をどう舵を取っていくのかその考えを聞く。子育て支援・給食無料化・その次は。更なる萩の魅力づくりは。</p>		

